

ケア・カウンセリング通信 Vol 58

発行：日本ケア・カウンセリング協会 <http://www.npojcca.org>

編集 協会郵便振込口座 00110-7-147466

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15 ウィン青山 942

Tel: 03-6403-7495 Fax: 03-6893-3931

e-mail :npo-jcca@npojcca.org

研修 <https://jcca2000.jimdofree.com>

2022年6月発行

オンデマンド講座への期待と展望

代表理事 品川博二

既に臨時広報（ハガキ）でお知らせしたように、2022年6月から会員の皆様にはオンデマンド講座が配信されました。ご承知のようにオンデマンド講座は、日本ケア・カウンセリング協会の会員であれば（要・事務局にアドレスの再登録）、全員にケア・カウンセリング講座「人間関係の原点／自他境界の越境の視点から」（約6回講座／YouTube）を無料で受講できるシステムです。

まだ予断を許さぬリアル研修の開催ですが、この2年前から協会はZOOMを利用したONLINE研修を確立いたしました。現在、①入門講座、②基礎講座③専門講座、④臨床ワーク・ディスカッション、⑤セルフケース検討会の5つのプログラムを毎月開催しております。

従来の、リアル研修の臨場感には及びませんが、在宅で研修に参加できるメリットは大きなものがあります。往復の交通費、滞在費が不要となり、北海道から沖縄まで、ケア・カウンセリングを共に学ぶ全国の仲間と一堂に会することは、リアル研修には無かったものです。今後、リアル研修の復活が可能となっても、ONLINE研修のメリットは活かしてゆきたいと思えます。

さて、今回のオンデマンド講座のスタートは、協会研修の在り方が、これまでのONLINE研修をより進化発展させた「サブスクリプション」方式のプログラムとなることを意味します。

- ①協会の全会員に無料で視聴できる。
- ②いつでも何度でも、会員の自由な時間と場所で視聴できる。
- ③受け身の視聴だけでなく、毎月のシェアリングもできる（専門講座）。

* サブスクリプション subscription サービスを一定期間に会費で利用できるビジネスモデル

私たち日本ケア・カウンセリング協会は、「人が人と関わる在り方に、人間の
本質を求める」（間主観性 intersubjectivity）ことを学びの目的としています。

この関りを適切に求める為に、カウンセリングの理論と技術を学んでいます。
この学びと関りは、一時の関心や興味では終わりません。あなたとあなたに関わ
る方々を幸せにするために、共に学びを進めましょう。

あなたのご参加をお待ちしています。

2021年ONLINE第22回総会／プレゼミ&全国研修大会報告

テーマ：「ケア・カウンセリングの展望」

～ 「自他境界の越境」の視点から臨床を考える ～

代表理事 品川博二

2021年は、日本ケア・カウンセリング協会が発足（1991年・京都、設立
総会）して30周年、法人認証を受けて20年を経た年で、本来なら記念すべき
年でした。しかしながら世界中に蔓延するコロナ禍の中で、未だに人々は多くの
困難と問題に立たされていました。わが国の現状も非常事態宣言こそ停止とは
言え、まだまだ予断を許しません。この状況の中で私たちの協会も、2020年
2月以降、通常の研修事業を行うことができずに2年目を迎えました。

この困難な状況にもかかわらず、会員の皆様のご協力と多くのスタッフの努
力のおかげで、協会はONLINE研修という、新たな活動ステージを切り開くこ
とができました。現在、「入門」・「基礎」・「専門」・「臨床ワーク・ディス
カッション」・「セルフケース検討会」の5つのマンスリー研修の他「会員フォ
ーラム」のONLINEミーティングの計6つのプログラムが稼働しています。

昨年までは、全ての研修会場でリアル開催ができなくなり、協会の展望を失っ
ていた私たちでした。しかし、このコロナ禍を乗り越える希望がようやく見えて
来た思いです。この困難な状況においても、ケア・カウンセリングの学びに、現
代の情報ツール（ZOOM）を活用できたことを心から喜んでおります。

さてZOOMミーティングでのONLINE研修は、確かにIT社会の象徴であ
り、その恩恵は極めて大きなものです。しかしながら、私たち「心の臨床」に関
わる者には、なかなか難しい課題を顕在化する側面がありました。それは「心の
在り様」は、デジタルで記述することは原理的に難しいということです。

ONLINE研修が開始された当初に比べると、受講生の顔ぶれもやや固定して

きており、まだ多くの会員が ON LINE 研修に参加できてはいません。その理由は「パソコン・スマホの操作が不得意な」中高年世代の方が多いこと。「研修内容が難しく感じる」「テーマに興味を覚えない」etc.、様々な要因が考えられます。なかでも最も指摘できるのは、ON LINE 研修では「ライブ空間の気分」を体験できないことがあると思われます。

かつて全国各地で開催されていた時のケア・カウンセリング講座のパワーは、「ライブ空間のノリ」(?)にあったと思われます。その体験は、単に思考レベルに止まらず、感覚・感情レベルにアクシスする「全人的な感性の体験」だったと思われます。受講生の多くの方は、研修のなかでの「知的なコンテンツ」を理解する以上に、会場のライブ感・周囲の受講生の感覚の同調行動。まさに「ノリ」をキャッチアップしながら、全身で感じる「知的な感受性」を手掛かりに、自己の内面へのアプローチを「面白がっていた」のではないのでしょうか？むしろ論理的な理解は、後からゆっくり味わう知的作業であったかもしれません。

これは、講師自身の体験でも実感しています。この間、大学や看護学校で e-learning の講義をなんども「やらされた」体験から、講師が痛感することがありました。目の前に不在の受講生に向かって、心理学や人間関係論を講義することは、「畑の案山子に愛を語る」より困難です！ケア・カウンセリングのエッセンスは、「いまーここで」のライブの研修でこそ、お互いが共有化できるものなのです。その意味で、ON LINE 研修は、もっぱら知的な理解と論理的なモードで体験される情報交換の側面が大きいのです。

この ON LINE 研修で「生き生きとした面白さ」を体験するには、受講生自身の内部で、「思考—感情—感覚」の体験構造にアクシスする必要があります。かつての「ライブ空間」での研修では、そのアクシスが極めてダイナミックな体験であり、受講生は比較的スムーズに「自己の内的課題」と「論理的思考」とのアクシスに成功出来ました。しかしながら、現状の ON LINE 研修では、このライブ感を体験することは、必ずしも容易ではありません。それゆえ、ON LINE 研修に参加する受講生には、一層の知的好奇心と「自己の内的課題の見直し」の両者の動機付けが求められるのです。

知的好奇心と自己の内的課題の見直しこそ、実は「ケアの実践」を支える重要な足場です。この足場が弱ければ、ケアリングの現場では「患者の疾病性」か「自己のこだわり」かに傾いてしまいます。その結果のケアリングの不全が起こり、その被害者は、まず患者であり、そしてケア従事者自身です。あの「ライブ空間」の「気分」が、私たちの知的好奇心と自己の内的課題の見直しへの大切な動機づけになっていたことを、改めて認識する必要があります。

さて、このような構造的困難の中、2021 年は、再び ON LINE 総会となりました。テーマは、「自他境界の越境」という、ケアの本質に関わる課題であり、

実のところ「ライブ空間の気分」に根差す感受性の問題でもあります。この難解なテーマに取り組んでくださった4名の皆さんのシンポジウムを核にして、プレゼミと総会研修が有意義なものにできたと思います。

一日も早くコロナ禍が治まり、また各地の会場で、皆さんとシェアリングできる時を心から願っています。多くの会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

2021年12月24日

特定非営利活動法人 日本ケア・カウンセリング協会
理事会議長／代表理事 品川博二

第22回総会に参加して

～ 「自他境界の越境」とは何か？ ～

実行委員長 相澤久美

2021年の22回総会は、前年に続きオンライン開催でした。コロナ禍にもかかわらず、開催できたことを良かったのですが、オンラインではリアルな交わりの手応えを望むことはできません。一日も早く、コロナ禍が治まり、また浅草で全国の皆さんとお会いしたいと思いました。

さて、今回の総会テーマは「自他境界の越境」というやや難解なテーマでした。

私たち日本ケア・カウンセリング協会は、言うまでもなく「他者援助の専門家の集団」です。疾病・障害に陥ったクライアントさん達を適切な援助を行うことが、私たちケア従事者の課題です。しかしながら、これまで私たちの対他者援助は、「お世話をする」という伝統的な、必ずしも洗練されているとは言えない「考え方」だったと思われます。ここで、ケア・カウンセリング協会が、対人援助の理念を「自他境界の越境」という新しい視点で理解しようとしていることに、私は新鮮な響きを感じました。

「自他境界の越境」とは、実のところ決して難解な専門知識ではありません。ターミナルケアから、男女の痴話ゲンカに至るまで、人間関係のあらゆる場で「自他境界の越境」は現象しているからです。理論で分かろうとすると難しいですが、その体験は日々の生活に馴染み深く、私たちの在り方に根差しています。私たち「ケア・カウンセリングを学ぶ者は、他者援助の臨床の中で、この「自他境界の越境」の視点に努める必要があります。そうすることで、「援助を得る者も、援助を試みる者も、共に元気になれる」社会を目指すということなのです。

(おわり)

2021 年第 2 2 回総会・プレゼミ概要

実行委員長 相澤久美
総合司会 勢司博之

<プログラム>

11月13日 **総会プレゼミ「自他境界の越境」を考察する**

講師 品川博二（代表理事／臨床心理士）

①14:00～17:00

シンポジウム

「自他境界の越境」を考える

松倉理江 看護管理者

今川恵子 精神科看護師

井口敦子 社会復帰施設 PSW

土井麻衣子 高齢者施設相談員

②トークイベント&グループ討議 19:00～21:00

「自他境界の越境」とケアの本質

品川博二 代表理事／臨床心理士（公認心理師）

大川嶺子 沖縄県看護大学院学教授

11月14日 **総会&全国研修大会**

①総会特別講演 10:00～11:50

品川博二 代表理事／臨床心理士

「自他境界の越境／適応障害の視点から」

②総会 13:00～14:00

③総合シェアリング

「自他境界の越境」とケアの本質

コーディネーターと小グループによるシェアリング

*以上、敬称略。

開催方式：ONLINE 開催（Zoom）

実習単位

「総会プレゼミ」および総会日の「全国研修大会」は実習科目です。

実習単位数は、ケア・カウンセラー2 級以上の登録時に必要です。

- ① プレゼミ＋総会＝実習15単位
(プレゼミと総会の両参加のみワークショップ扱いの加算登録が可)
- ② プレゼミのみ参加(実習5単位)
- ③ 総会のみ参加(実習5単位)

2021年11月14日開催

特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会

第22回ONLINE総会議決報告

理事会議長(代表理事)・品川博二

<基本方針>

緊急事態宣言とまん延防止等重点措置は、2021年10月に解除されました。しかしながら、未だに予断を許さぬコロナ禍の下、協会の活動形態としてONLINE研修を中心とした、ケア・カウンセリング事業を昨年に続き継続展開してゆきます。

- ① 「withコロナ時代」の社会をサポートするケア従事者の為のNPO法人として、日本ケア・カウンセリング協会は活動を展開します。
 - ② ONLINE研修システムを活用しNPO法人の強みを活かした(低コストで低リターンの)ビジネス・モデルを再構築します(継続)。
 - ③ 協会知的財産である「ケア・カウンセラー」(商標権)の実体化に努めます(継続)。
 - ONLINE開業可能な「認定ケア・カウンセラー」制度として、ONLINE研修に特化した研修システムを拡充します。
 - 従来の対面研修を前提としたケア・カウンセラー養成システムを再構築します。
 - ⑤ withコロナ時代におけるケア従事者に特化したONLINE・カウンセリングサービス(無料)の提供を継続検討します。
- * 以上、具体的な施策については、執行部特別委員会で担当し実施する。
 - * 昨年度総会議決事項の「次世代養成のプログラム」(U40プログラム)は、コロナ禍の実際的な終息を注意深く見守りながら、当面は保留とする。
 - * 各地域・支部におけるミーティングも、当面は経過を観察する。

＜総会議決案件＞

議案1 協会本部所在地（事務所）

定款 第2条1項の変更、および2項の削除

1、この法人は、事務所を、東京都港区南青山二丁目2番15号 ウィン青山
942におく。

2、削除

現定款：1.この法人は、主たる事務所を、東京都文京区音羽1丁目6番8号 音羽小峰マ
ンションB1階におく。

2.この法人は、前項のほか、従たる事務所を、和歌山県和歌山市和歌浦東1丁目
9番19号におく。

議案2、ZOOM等を使用したON LINE研修事業拡充をさらに継続する。

1、ON LINE 基礎講座（原則土曜日 13:30～16:00）

①対象：正会員 および非会員のケア従事者（一般市民も可）

②料金：¥3000 （3単位：単位は会員のみ）

③目標：ケア・カウンセリングの基本的理解とコンセプトの普及

2、ON LINE 専門講座（原則日曜日 13:30～16:00）

①対象：ケア・カウンセラー登録会員、カウンセリングに関心をもつケア従
事者

②料金：¥3000（実習3単位）

③目標：ケア・カウンセラー養成1・2級（専門講座の受講単位はケア・カ
ウンセラー試験の一部免除あり）

3、ON LINE セルフケース検討会（特定の水曜日 20:30～22:00）

①対象：カウンセリングの理論と技術を臨床に応用することを目的とする
ケア従事者（要；守秘義務者）
ケア・カウンセラー3級以上

②料金：¥4000 （実習2単位）

③目標：「認定ケア・カウンセラー」（ON LINE 開業）

4、ON LINE 入門（市民）講座（特定土曜日 10:00～12:00）

①対象：一般市民（ケア従事者）

②料金：¥2,000 （2単位）

③目標：ケア・カウンセリングの普及

5、臨床ワーク・ディスカッション（特定の水曜日 20:30～22:00）

①対象：カウンセリングに関心をもつケア従事者（臨床歴2年以上）、

②料金：¥4000（実習2単位）

③目標：ケア・カウンセラー養成 1・2級

- * セルフケース検討会および臨床WD講座の12単位受講者は、ケア・カウンセラー試験の一部免除があります。
- * ON LINE 研修移行に伴い、2021年6月末で、研修チケット販売を終了しました（研修チケットは2022年6月末で利用停止となります）。

議案3、ON LINE 認定ケア・カウンセラー制度を再編成します。

2022年5月以降、第1回認定ケア・カウンセラー試験を実施します。
2019年総会で承認された「認定ケア・カウンセラー」試験を、
ON LINE 研修に特化した様式にて再構築する。

受験資格は以下の5項目から①②を含む4項を満たす者です。

- ①ケア・カウンセラー1級登録者で2年を経過した会員
- ②ON LINE 個人ガイダンスを60時間以上受講した会員（要、修了口頭試問）。
- ③臨床ワーク・ディスカッションで話題提供者を4回経験した会員。
- ④ON LINE ケース検討会で事例提供者を2回以上提供した会員（要、修了口頭試問）
- ⑤協会認定助講師もしくは研究所客員講師の有資格者

議案4、ON LINE 研修の受講生拡充宣伝キャンペーン

ON LINE 研修の受講生を拡大する為に、大幅な新人募集キャンペーンを実施する。

→ ON LINE 入門講座へ会員が新人を紹介した場合、無料招待とする。

議案5、今年度決算書・次年度予算案

- * 予算案、決算書は別紙報告

<総会への報告>

報告1 日本ケア・カウンセリング研究所・客員講師任用試験合格者の公示。
以下の4名の方が、研究所客員講師に採用されました。客員講師は、
原則として個人ガイダンス100時間を経て、理論審査の口頭試問に合格されたケア・カウンセラー有資格者です。

松倉理江（北海道）

今川恵子（関西）
井口敦子（首都圏）
土井麻衣子（東北） 以上、敬称略

- * 日本ケア・カウンセリング研究所：
→ 協会指定の臨床教育機関（所長：品川博二）

報告2、(公社)日本臨床工学技士会「臨床実習指導者研修会」WEB 開催

2020年10月全国の臨床工学技士の先生方を対象に、リモート研修が開催され、協会から品川博二講師が講演を担当いたしました。臨床工学技士の皆様には、ケア・カウンセリングのコンセプトが比較的知られておりその普及に有意義であったと思われます。

報告3、茨城県社会福祉協議会 ON LINE 研修開催

「利用者・支援者/共に元気になる対人学」コロナ禍のなかで、通常の対人研修ができなくなった社協での研修において、協会から品川講師がON LINE 研修でケア従事者への講演を実施しました。5月に引き続き、連続講座として「臨床死生学」が年末にも開催されます。

報告4、2020年度の協会功労賞は、中道尚美さんに決定いたしました。

コロナ禍のなかで、協会ON LINE 研修システム構築に尽力された功績を表彰いたします。賞品と賞状をお渡しします。

報告5、神奈川県で精力的に障害者支援事業を行っている(株)ベストライフ・ジャパンのケア従事者に、障害者虐待防止法に基づく連続研修をON LINE で実施しました。

報告6、(財)田中教育研究所にて、リモート研修「アタッチメント理論／養育態度が、子どもに与える影響」について講演しました。保育士を対象に親子関係におけるアタッチメント（愛着行動）の心理学的意義についてケア・カウンセリング理論を述べたものです。

報告7、戸田中央医科グループ（首都圏に29の病院と6つの老人保健施設）の看護幹部研修として、ハラスメント研修をON LINE 実施しました。

報告8、三重県介護支援専門員協会 ON LINE (ZOOM) 研修。

2021年10月7日、三重県での介護支援専門員を対象とした「虐待は何故起こるのか？～虐待する側の心理」ON LINE 研修が開催されました。

報告9、札幌学院大学コミュニティーカレッジ ON LINE 研修。

一般市民を対象にした公開講座として、「パーソナリティ障害」について、品川講師が講演をしました。（以上）

令和2年度 特定非営利活動に係わる事業会計決算書

令和2年 10月 1日から令和3年 9月 30日まで

特定非営利活動法人
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員年会費	1,659,700	1,659,700
2 事業収入		
研修事業収入	1,790,574	
登録審査料	0	
登録料	0	
更新料	3,000	
書籍売上	0	
CD売上	0	
雑収入	232,876	
カウンセリング利益収入	0	2,026,450
3 特別収入		
総会参加費	190,000	
東北支援金収入	0	
三菱商事震災助成金	0	190,000
当期収入合計		3,876,150
前期繰越金		2,342,070
収入合計		6,218,220
II 支出の部		
1 事業費		
通信発行費	0	
研修事業経費	2,450,000	
書籍仕入高	0	
期首書籍等棚卸高	0	
期末書籍等棚卸高	0	2,450,000
2 業務経費		
① 特別費		
総会開催費	19,908	
東北支援金からの支出費	0	
助成金からの支出費	0	19,908
② 事務局費		
地代家賃	500,000	
人件費	1,020,000	
法定福利費	0	
旅費交通費	164,000	
通信費	57,339	
事務用品費	50,837	
租税公課	0	
支払手数料	3,160	
商標権償却費	0	
減価償却費	0	
外注費	444,880	
水道光熱費	59,037	
保険料	0	
ボランティア諸経費	0	
雑費	0	
修繕費	143,000	2,442,253
当期支出合計		4,912,161
当期収支差額		△ 1,036,011
次期繰越収支差額		1,306,059

令和2年度 特定非営利活動事業 貸借対照表

令和3年9月30日作成

特定非営利活動法人
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
流動資産		
銀行預金	517,822	
郵便振替口座	11,888,695	
現金	2,752	
郵便貯金	253,952	
音羽事務所 敷金	0	
前払費用	0	
商品(CD)	116,400	
商品(書籍)	13,800	
仮払金	1,152,019	
器具備品	1	
商標権	0	
資産合計		13,945,441
II 負債の部		
未払金		3,250,370
預り金		553,460
源泉分預り金		0
仮受金		3,066,208
前受金		5,769,344
負債合計		12,639,382
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		2,342,070
当期正味財産増加額		△ 1,036,011
正味財産合計		1,306,059
負債及び正味財産合計		13,945,441

令和3年度 特定非営利活動に係わる事業会計予算書

令和3年 10月 1日から令和4年 9月 30日まで

特定非営利活動法人
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)		内訳
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員年会費	1,600,000	1,600,000	8000*200
2 事業収入			
研修事業収入	2,500,000		
登録審査料	0		
登録料	0		
更新料	30,000		3000*10
書籍売上	0		
雑収入	1,000	2,531,000	
3 特別収入			
総会参加費	150,000	150,000	5,000*30
当期収入合計		4,281,000	
前期繰越金		1,306,059	
収入合計		5,587,059	
II 支出の部			
1 事業費			
通信発行費	100,000		100000*1
研修事業経費	2,000,000	2,100,000	
2 業務経費			
① 特別費			
総会開催費	20,000	20,000	
② 事務局費			
地代家賃	480,000		
人件費	1,020,000		パート
法定福利費	0		雇用保険ほか
パソコン関係費	0		
旅費交通費	120,000		
通信費	50,000		郵便 宅急便
事務用品費	50,000		コピー用紙・封筒ほか
保険料	0		家財保険
外注費	410,000		税理士、ホームページ更新他
水道光熱費	0		
商標権償却費	0		商標権取得費を10年で償却
減価償却費	0		
支払手数料	10,000		振込料
雑費	0	2,140,000	
当期支出合計		4,260,000	
当期収支差額		21,000	
次期繰越収支差額		1,327,059	